

まちかど

アルバム



カフェ運営で勤労と納税を体験

パレットとっとり

1月30日（土）、市内の小学6年生らの運営するカフェが、弥生町のパレットととりに開店しました。「キッズカフェ」と題したこのイベントは、鳥取法人会青年部会（尾崎好邦部会長）が、児童に勤労と納税の大切さを学んでもらおうと実施したものです。児童たちは、慣れない言葉遣いに戸惑いながらも、手作りのラーメンやハンバーガーを食べてもらおうと懸命に接客。なお、閉店後は、消費税の確定申告書の作成も体験しました。

マイケル先生との楽しいひととき

福部保育園

1月25日（月）、米国出身の外国語指導助手、マイケル・アッシュ先生が福部保育園を訪れ、園児と交流しました。はじめに、先生が英語で元気にあいさつすると、園児たちも負けずに大きな声であいさつ。続いて「かるた取り」では、読み上げられた札を先生より先に見つけた園児が、先生の手を引っ張って取りに行きました。昨年12月から続く交流で、先生と園児とは大の仲良しです。



次の一手で勝負が決まる!?

国府町中央公民館

1月17日（日）、国府町中央公民館で、毎年恒例の「囲碁・将棋大会」が開催されました。今年は、初心者から有段者まで計46人が参加。中級者までのクラスと、上級者のクラスの2つに分かれ、自慢の腕を競い合いました。なかには、親子以上に年の離れた対局もちらほら。誰もがその一局に集中し、真剣な表情で向き合っていました。



祭典のフィナーレ迫る

市民会館

「2009 鳥取・因幡の祭典」のフィナーレを飾る「いなば絆（KIDSな）ドリーム」イベントに先立ち、1月31日（日）、主役となる子どもたちが市民会館に集結。プロジェクトの発足式を行いました。子どもたちは、郷土料理班、工芸班、芸能班、砂像班、大鍋班の5班に分かれ、さまざまな体験を通して絆を深めていきます。その集大成となるイベントは、3月21日（日・祝）と22日（月・振）に、久松公園ほか市内一円で開催されます。





端切れでエコな草履作り

瑞穂地区公民館

1月31日(日)、端切れで草履を作る教室が瑞穂地区公民館で開催されました。冬暖かく、夏涼しいという布草履は、余った布で作るとさらにエコな製品となります。初心者ばかりの教室でしたが、思いのほか簡単にできたようで、参加者の一人は「この冬にもう何足か作り、健康のためにも家の中では布草履で過ごしたい」と笑顔で話してくれました。

迫力の太鼓演奏に息をのむ

市民会館

1月24日(日)、因幡地方の和太鼓団体が一堂に会し、日ごろの練習の成果を披露する「因幡和太鼓の祭典」が、市民会館で開催されました。本市からは「ふくべ砂神太鼓(福部町)」や「神話の里太鼓 八上姫(河原町)」、「巖流こぶし太鼓(佐治町)」、「逢鷲太鼓連(気高町)」など8団体が出演。息の合った迫力ある演奏に、観客は思わず息をのんでいました。



地元食材の学校給食に舌鼓

鹿野地域

1月29日(金)、鹿野小学校と鹿野中学校のランチルームで、学校給食の試食会が行われました。これは、学校給食の意義や役割を知ってもらおうと、鹿野学校給食センターが開催したもので、住民と児童らが参加。「鹿野地鶏とサツマイモのミックス揚げ」や地元で収穫された野菜のみそ汁など、じげの食材をふんだんに使用したメニューを味わいました。

大好評のヨガ教室

プラザ佐治記念ホール

佐治地区公民館で昨年度好評だったヨガ教室が、今年度も全10回のコースで開催されています。2月3日(水)の教室に参加した受講生は、講師、中原啓子さんの指導で、普段使わない筋肉を伸ばしたり深呼吸したりして、心地良い汗をかきました。「ヨガは、体が柔軟なだけではなく、筋力が無いと安定しませんね」と言う人もいて、みなさんが回を重ねるごとにヨガへの理解を深めているようです。



因州和紙の魅力凝縮

あおや和紙工房

青谷町山根のあおや和紙工房では、2月6日(土)から企画展「第6回因州和紙あかり展」が開催されています。この企画展には、和紙で作った「あかり作品(照明器具やオブジェ)」が、市内はもとより全国から約100点出展されています。和紙の持つ独特の風合いが「あかり」を灯すことでより一層ひきたてられ、訪れた人を柔らかに包みます。展示は3月28日(日)まで。